

「本リリース御案内は、経済産業省記者クラブ、ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成22年11月22日



製品安全センター

電気ストーブの事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、「電気ストーブ」（※1）による事故は、平成17年度から平成21年度の5年間に999件ありました。（※2）

被害の状況は、死亡事故が91件、重傷事故が20件、「一室以上の火災」が405件でした。死亡者は102人で、70歳代以上が72人で7割を占めています。

「電気ストーブ」の事故で、消費者の誤った取り扱いや不注意によると考えられるものが282件（28%）あり、事故原因は、「寝具・衣類・家具など可燃物にヒーター部が接触したもの」が219件（78%）と「乾燥中の洗濯物が落下したもの」が35件（12%）に大別されます。なお、この2つの事故原因を合わせた254件のうち、85件は「就寝中」に発生した事故でした。

また、専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるものが383件（38%）あり、リコール品も多数含まれています。このうち、「ハロゲンヒーター」が253件であり、約7割を占めました。

「電気ストーブ」による事故は、11月以降に多く発生することから、消費者に事故の内容を理解していただき、正しい使用によって事故を防止するとともに、リコール対象製品の確認を促すため、注意喚起をすることとしました。

（※1）電気ストーブ：ニクロム線電気ストーブ、ハロゲンヒーター、カーボンヒーター、オイルヒーター、セラミックヒーター、パネルヒーターなど

（※2）平成22年10月1日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

1. 記者説明会について

日時：平成22年11月25日（木） 10：00～

場所： ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加ご希望の方は、平成22年11月24日（水）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へご連絡下さい。

2. 説明する内容

N I T Eに通知された電気ストーブによる事故について、事故状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、再現実験映像をご覧ください。

(本件に関する問い合わせ先)

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田(ながた)、葛谷(くずや)、三好(みよし)

電話：06-6942-1113

製品安全センター製品安全調査課(11月24日午後)

担当者 長田、葛谷、三好

電話：03-3481-6566(製品安全企画課)

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、葛谷、三好

電話：03-3481-6566(製品安全企画課)

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、葛谷、三好

電話：06-6942-1113